

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2025年11月20日

事業所名：児童発達支援 こぼんはうすさくら横浜本牧教室

対象人数(保護者)25人 回答者数 18人 回収 72%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制・ 整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1		2		多くて4.5人の曜日利用なので、スペースは十分に足りてると思います。MAX10人の日だと、狭いのでは？と感じます。	教室のスペースは、10名定員の場合も必要な面積がありますが、児発は午前・午後と支援が2回ありますので、午前は未就学児・午後は年少以上と、出来るだけ人数を分けて広さの確保ができる状態で支援を行いたいと思います。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			3			
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		2			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16	1			1	見学した時に、エアコンが効き過ぎていたので日々の設定温度が気になります。	日々の設定温度は、その日の気温や湿度を確認し、適切となるよう気を付けて参ります。
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	3				子供に合わせた内容でドリルやお勉強をしてくれるのでありがたい。	それぞれのお子さまの発達や、特性をしっかり理解し、成長を促すことのできる支援を行うために、チームで取り組んでまいります。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	2					
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16	2					
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	3					
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	2					
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	2					
保護者への説明等	⑪	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	3	5	8			
	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	3				日々、詳しく丁寧に説明していただけてます。	ご利用の前には、管理者が丁寧に説明を行っています。
	⑬	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18						
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	1	1			
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	1		1			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3		1			
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	2					
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3	1	5	1	日程が合わなくて参加できていない。	今後はできるだけ、皆さまにご参加いただける日程を組めるようにし、より多く出席くださるよういたします。
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	3		1			
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	5					
	㉑	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	2		3		当日に写真付きで、内容を送っていただけるので詳しくわかりやすいです。先生方のコメントも細かく見ていただけて読むのが楽しみです。 ただ、利用の計算がたまに記載違いがあるところが気になります。	いつも連絡帳の既読をしていただき、誠にありがとうございます。 利用の計算のほうも、間違いないよう改善いたします。 誠に申し訳ございません。
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1		1			
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2		3			
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		5			
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		2			
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		4			
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	4				こぼんに行くのを楽しみにしています。	これからも、お子さまにとって安心安全で、楽しい場所であられるよう日々精進してまいります。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	4					
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	16	2				送迎時、職員のスマホで児童にYouTubeを見ていることが気になります。療育として通っている為、YouTubeなど動画を見せていては療育の意味が問われます。	送迎用携帯で、車内で他児に他害をしてしまうお子さまのみ、気分の落ち着く動画を見せていることがあります。狭い車内の中、添乗者も一人の為、お子様の安全面を優先し、やむを得ない措置としています。 今後の対策を職員で思考し、より良い療育を行ってまいります。

公表日

2025年

11月

20日

事業所名

こぼんはうすくら 横浜本牧教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・カーテンでエリアを分けることができている。 ・曜日によっては人数が多く、年齢も異なるので、カーテンで仕切ったり外で遊ぶなど工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・適切な日もあれば、不足している日もある。 ・時々は足りないと感じる。お互いの助け合いで工夫している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・玄関より事務所への通路がなく、支援室を通り抜けている。改善が必要と思う。 ・場合によってはクールダウンするパーソナルスペースがあればいいと感じる。	トイレのスライドドアがゆっくり閉まると、なお安心。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日みんなで、掃除をしている。	床の落ちている画用紙の切れ端等、小さなごみは、子どもたちが口に入れてしまうと危険。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	パーティションや、カーテンを使用し、個別空間をつくる工夫をしている。	パーソナルスペースが必要と感じる。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	毎日ではないが、共有している。	目標設定をするが、それを実行するスタッフは少ない気がする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	社員会議にて業務改善についての会議を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	意見を出しやすい環境と感じる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		研修を受講できるスタッフと出来ていないスタッフがいると思う。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	行えている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	児発管が現場の声を良く聞いて作成してくれている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・児発管が現場の声を良く聞いて作成してくれている。 ・共有されている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別支援会議にて、共有を行っている。毎日の振り返りで、支援内容について児発管が計画に沿ったアドバイスを職員に行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		日常の関わり・観察で理解はしているが、その児の検査やテストの結果は全く頭に入っていない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	良く考えられている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	プログラム会議を行い、立案している。	プログラムを考えられるスタッフが少ない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		保護者からの指摘もあった為、固定化しないよう改善する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	基本的には集団療育を行っているが、その中で、個別活動もしっかり行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・全員が集まってではないが、支援前には注意すること、マンツーマンでつく児の確認をしている。 ・工夫はしているが、同じような内容になっていないか心配。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・その日、気になることがあった場合共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・ケア記録で検証	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	行えている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・必要を感じたら、園に見学に行くことがある。 ・全員ではないが、問題があると情報共有したり、ケース会議をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	5	まだそこまで必要を感じないが、 今後は機会を設けたい。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	地域のお祭りに、積極的に参加をしている。	地域交流の情報収集が必要。
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	毎日の支援で、必要に応じてメールや、電話で共有を行い、理解を深めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	ペアレントトレーニングや、講師による勉強会を開催している。	来年度は、年間計画を策定し、定期的な開催をするよう改善する。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に丁寧な説明を行っている。	2025年8月に管理者が変わったため運営規定等の把握が必要。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	児発管がしっかりと意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・ブログをアップしている。	SNSでは、今後Instagramでの情報発信を予定しており、保護者様に教室の内容を発信していく。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	留意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	ジェスチャー、絵カードを使用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		地域住民との関わりを増やす必要がある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	マニュアル作成してあるが、ご家族等に周知は十分ではない。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2		毎月1回行っているが、状況に応じて安全に避難できるように複数のルートを知りたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・毎日アレルギー対応を確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	作成している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		ご家族への周知は不十分。今後改善していく必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		ヒヤリハットの申告が少ない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	必要な際は、研修をしたり、個別に話をしていると思う。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	必要な方には、十分に説明の上、計画に記載している。	